

# ストラヴィンスキー ザ バレエ



Tokyo-HARUSAI Stravinsky vol.2  
Stravinsky The Ballet

“Apollon” by de Bana, “Le sacre du printemps” by Béjart  
ド・バナの《アポロ》、ベジャールの《春の祭典》



Patrick de Bana ©JAVIER GARCECHE / Maurice Béjart © Yoshihiro Kawaguchi / The Tokyo Ballet © Kiyonori Hasegawa

《アポロ》 “Apollon”

《春の祭典》 “Le sacre du printemps”

振付：パトリック・ド・バナ (新作)  
Choreography : Patrick de Bana  
音楽：ストラヴィンスキー (《ミューズを率いるアポロ》)  
Music : Stravinsky “Apollon musagète”  
ドラマトゥルク：ジャン=フランソワ・ヴァゼル  
Dramaturg : Jean-François Vazelle  
舞台美術：アラン・ラガルド  
Set Design : Alain Lagarde

照明：喜多村 貴  
Lighting Design : Takashi Kitamura  
衣裳：シュテファニー・ボイエレル  
Costume Design : Stephanie Bäuerle

アポロ：キリル・クルラーエフ (ウィーン国立バレエ団 プリンシパル)  
Apollo : Kirill Kourlaev  
ミューズ：マリア・ヤコヴレワ (ウィーン国立バレエ団 プリンシパル)  
Muse : Maria Yakovleva  
ニーナ・ポラコワ (ウィーン国立バレエ団 プリンシパル)  
Nina Poláková  
橋本清香 (ウィーン国立バレエ団)  
Kiyoka Hashimoto

アポロの母レト：アレーナ・クロシュコワ (ウィーン国立バレエ団)  
Mother of Apollo : Alena Klochkova

演奏：長岡京室内アンサンブル  
Nagaokakyo Chamber Ensemble in Kyoto

振付：モーリス・ベジャール  
Choreography : Maurice Béjart  
音楽：ストラヴィンスキー  
Music : Stravinsky

生贄：梅澤 紘貴  
Sacriface : Hiroki Umezawa  
奈良春夏  
Haruka Nara

東京バレエ団  
The Tokyo Ballet

演奏：東京都交響楽団  
Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra  
指揮：ジェームズ・ジャッド  
Conductor : James Judd

4/14 15:00  
[日]  
April 14 (Sun) 15:00

東京文化会館 大ホール  
Tokyo Bunka Kaikan Main Hall

S ¥10,000 A ¥8,000 B ¥6,000 C ¥5,000  
D ¥4,000 E ¥3,000 U-25 ¥2,000

※U-25 チケットは東京春祭オンラインチケットサービスのみで取扱い

【主催】東京・春・音楽祭実行委員会 【協力】N&F Co., Ltd.Tokyo

東京春祭  
TOKYO OPERA NOMORI

東京・春・音楽祭 —東京のオペラの森2013—  
SPRING FESTIVAL IN TOKYO TOKYO OPERA NOMORI 2013

東京春祭で祝う《春の祭典》初演100周年。  
同時上演には、ベジャールの薫陶を受けた  
ド・バナの振付による《アポロ》新制作!

たプログラミングでもあるのだ。

振付は《春の祭典》がモーリス・ベジャール。担当するのはベジャールと密接な間柄にあった東京バレエ団ゆえ、作品への深い愛着と理解に基づいた感動的な舞台が約束されている。《アポロ》にはウィーン国立バレエ団のメンバーがフィーチャー。長年パリ・オペラ座のエトワールを務めたマニュエル・ルグリが芸術監督として日々磨きをかけているダンサーたちゆえ、優雅さと気品ある踊りが、作品の魅力を十全に届けてくれることだろう。通常《アポロ》はバランシンの振付で知られるが、今回はパトリック・ド・バナによる新作というのも期待したい。ド・バナは、80年代後半から90年代の初頭までをベジャールのバレエ団で活動していたダンサーでもあるので、《春の祭典》での師ベジャールの美意識と見比べるのも興味深い。

音楽・バレエ・映画評論  
松本 學

《アポロ》

"Apollon"

パトリック・ド・バナ

Patrick de Bana

ハンブルクバレエ学校で学ぶ。1987年、ベジャール・バレエ・ローザンヌに入団、まもなくプリンシパルに昇格する。92年、スペイン国立ダンスカンパニーに移籍、プリンシパルを10年以上務める。2003年、自らナファス・ダンス・カンパニーを創立。近年は振付家としても活躍、世界中のカンパニーやダンサーと多くの作品を生み出している。



©Iris Hübner

キリル・クルラーエフ

Kirill Kourlaev

ウィーン国立バレエ団 プリンシパル



マリア・ヤコヴレフ

Maria Yakovleva

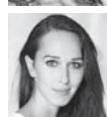
ウィーン国立バレエ団 プリンシパル



ニーナ・ポラコフ

Nina Poláková

ウィーン国立バレエ団 プリンシパル



橋本清香

Kiyoka Hashimoto

ウィーン国立バレエ団



アレーナ・クロシュコフ

Alena Klochkova

ウィーン国立バレエ団



©Oliver Staschewski/DeaPlein

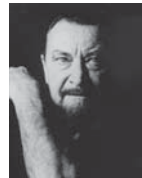
《春の祭典》

"Le sacre du printemps"

モーリス・ベジャール

Maurice Béjart

20世紀のダンス界に革命をもたらした天才振付家。1927年マルセイユ生まれ。2007年に没するまで数多くの名作を生み出した。



©Yoshino Kaseguchi

東京バレエ団

The Tokyo Ballet

1964年の創立。古典作品から現代振付家の名作まで幅広いレパートリーを誇る。"日本の生んだ世界のバレエ団"として欧州の主要劇場にも多数出演している。



梅澤 紘貴

Hiroki Umezawa

奈良春夏

Haruka Nara



東京都交響楽団

Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

1965年、東京オリンピックの記念文化事業として東京都が設立。渡邊暁雄、若杉弘らのもと発展を遂げ、《首都東京の音楽大使》として多方面で活動している。

ジェームズ・ジャッド

James Judd

イギリス生まれ。フロリダ・フィルハーモニー管弦楽団、ニュージーランド交響楽団、リール国立管弦楽団等の主要ポストを歴任。レコーディングも多い。

長岡京室内アンサンブル

Nagaokakyo Chamber Ensemble in Kyoto

森悠子を音楽監督として国内外から優秀な若手演奏家を集め、1997年に結成。指揮に頼らない独自の演奏スタイルと高度な表現法と音楽性の高さは希有な存在として高く評価されている。

※記載の配役は2月25日現在の予定です。※当初出演を予定しておりましたナタリー・クッシュは、本人の都合により出演できなくなりました。